

## 授業科目 評価学演習 I

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	理学
古西 勇、小林 量作、亀尾 徹、 粟生田 博子		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	60 (20)
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】					
骨、筋、関節、靭帯、末梢神経の触診および運動器系疾患に対する検査法を習得し、評価および治療の連続体におけるそれらの意義について説明し、各種検査を実施することができる。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 代表的な骨のランドマークを触診することができる。 2. 筋などの軟部組織を触診することができる。 3. 末梢神経を触診することができる。 4. 上記体表解剖および運動学的知識を応用し、各種運動器系検査を実施することができる。 5. 評価結果を解釈し、説明することができる。 6. 運動器系疾患の問題点を抽出することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	腰部・骨盤帯の触診（1）			1～3	担当：亀尾 徹 他
2	腰部・骨盤帯の触診（2）			1～3	担当：亀尾 徹 他
3	上肢帯～上肢の触診（1）			1～3	担当：亀尾 徹 他
4	上肢帯～上肢の触診（2）			1～3	担当：亀尾 徹 他
5	下肢の触診（1）			1～3	担当：亀尾 徹 他
6	下肢の触診（2）			1～3	担当：亀尾 徹 他
7	他動運動における運動ダイアグラム（1）			4～6	担当：亀尾 徹 他
8	他動運動における運動ダイアグラム（2）			4～6	担当：亀尾 徹 他
9	運動器系検査（上四半分）			4～6	担当：亀尾 徹 他
10	運動器系検査（下四半分）			4～6	担当：亀尾 徹 他
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢 改訂第2版	青木隆明（監修）、林典雄（執筆）	メジカルビュー社	2011・5,700円＋税
		運動療法のための機能解剖学的触診技術 下肢・体幹 改訂第2版	青木隆明（監修）、林典雄（執筆）	メジカルビュー社	2011・5,700円＋税
参考書					
その他の資料		配付資料			
【評価方法】 出席、授業態度、定期試験、実技試験			【履修上の留意点】 Tシャツ・短パンの上に医務衣を着用して授業に参加すること		